

多様な子どもの 権利を保障する保育

2023年4月1日から施行された「こども基本法」では、目的として、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、こども施策を総合的に推進することが掲げられ、基本理念にも、全ての子どもの意見表明権や参加（参画）の権利を尊重することが謳われています。

日本の乳幼児の教育・保育施設には多様な乳幼児が在籍しており、近年では外国にルーツのある子どもたちも増加しています。このような子どもたちの権利をいかに保障し実現していくかについては関心が高まっています。

外国にルーツのある子どもを含む多文化共生保育の国内外の実践から、多様な子どもの権利を保障する保育とは、民主的な保育とは何かについて、外国人の問題に矮小化せず共通して大切にしたい視点について考えあいましょう。



日時

2024年3月24日（日）13:00～15:30

場所

オンライン開催（Zoom）上限300名

参加費

会員 500円 *申し込みには会員IDが必要です 非会員 1,000円

話題提供1

佐々木由美子（足利短期大学）

外国にルーツをもつ子どもの主体的な遊びへの参加と

自己肯定感の育ちを支える保育実践

足利短期大学こども学科教授 専門：こども学、多文化保育・教育 在日外国人集住地域の群馬県大泉町等での研究会や聞き取り調査から保育士の役割や実践について研究。著書：『多文化共生保育の挑戦ー外国籍保育士の役割と実践ー』（日本乳幼児教育学会2021年度荘司雅子賞受賞）

話題提供2

松山 有美（日本福祉大学）

「民主主義」に根差した多文化共生保育

ースウェーデンの保育実践からの問いかけ

日本福祉大学教育・心理学部子ども発達学科准教授 専門：教育社会学・保育社会学 米国での保育者経験を活かし、「保育における多様性保障」をテーマに日本・米国・スウェーデンの国際比較研究に従事。著書：『多文化保育・教育論』（共著）

コーディネーター

山本 理絵（愛知県立大学）

愛知県立大学教育福祉学部教授、専門：幼児教育方法学、子育て支援論 著書：『子どもとつくる5歳児保育』・『すべての子どもの権利を実現するインクルーシブ保育へ』（共著）



申し込み方法：申し込みは左のQRコードからお願いします（申し込み受付開始日は、2024年1月11日）。後日、詳細を送ります。zoomのアプリ等をご用意ください。アーカイブ配信も行います（参加申し込み者のみ）。

問い合わせ：上田敏文（名古屋市立大学） ueda@hum.nagoya-cu.ac.jp